

第9回“夢ブック”読書感想文コンクール入賞作品

(感想文は、原文のまま掲載しております。)

【『夢』 いっぱい賞 (最優秀賞)】

中野上小学校 米田 和愛 (よねだ のあ) さん

「ほらぴったり」をよんで

よねだ のあ

わたしがこのえほんをえらんだのは、えをみてぴったりあうかたちをさがす はずだとおもったからです。

えほんをひらくと、まるといっしょにころがるのがだいすきな さんかくが、じぶんにぴったりあうところをさがしにいくおはなしでした。

このほんをよんでよかったところは、さんかくがおなじかたちもちがうかたちもあわせてみたら、ぴったりだったところでした。

わたしは、ともだちといっしょだなあとおもいました。ともだちも、ひとりひとりちがって、たのしいときも、けんかして「もういやだ」とおもうときもあるけど、みんなでひとつになれたとき、すごくたのしいからです。

わたしも がっこうで、みんなのいいところみつけて、いっしょにわらっていたいとおもいました。

【『夢』 ときどき賞（優秀賞）】

日方小学校 福田 承太郎（ふくだ じょうたろう）さん

きつねのぱんとねこのぱん

ふくだ じょうたろう

ぼくは、「きつねのぱんとねこのぱん」というほんをよみました。このおはなしは、きつねとねこがぱんのおいしさのしょうぶをして、なかよくなるおはなしです。

いちぱんおもしろかったところは、きつねとねこが、あいてのぱんのほうがずっとおいしいとおもって、わあわあとないたところです。ぼくも、さっかーのしあいで、まけたとき、くやしくてないたので、きつねとねこのきもちがよくわかりました。

ねこがなきやまないの、おみせのぱんたちが「どうしよう」とそうだんします。ぼくは、ぱんたちのおかげで、きつねとねこがなかよくなったんだとおもいます。

さいごにきつねとねこは、いっしょにぱんやさんをはじめます。きつねこぱんてんに、おきゃくさんが たくさんきて、ぱんをかっていくところがわくわくしました。

ぼくは、ひとりでがんばってもうまいかないときは、だれかといっしょにきょうりょくすればいいとおもいました。

黒江小学校 内田 美央理（うちだ みおり）さん

ぴったりがうれしいね

うちだ みおり

わたしは、このおはなしをよんでうれしいきもちになりました。それは、さんかくがじぶんにぴったりのなかまのところへいくことができたからです。

はじめ、さんかくはまるといっしょにあそんでいました。でも、「みんなのじゃまして」とおもって、もっとぴったりあうところを さがしにいきました。

しかくや、ろっかく、あちこちさがして、「なかまは、どこにもいないのかな」とおもいました。わたしは、このとき、さんかくは、とてもさみしかったとおもいます。わたしも、ひとりぼっちはいやです。だから、なかまとあえたところをよんで、わたしもうれしくなりました。わたしも、いろいろなともだちとあそんで、みんなでぴったりになりたいです。

『夢』きらきら賞（奨励賞）

大東小学校 在本 葉（ありもと しおり）さん

おならガス

ありもと しおり

このほんをみたとき、わたしは、おばあちゃんのくろまめをおもいだしました。おばあちゃんは、ふゆになるとくろまめをつくってくれます。おばあちゃんのくろまめは、とてもおいしく、みんなでとりあいをするぐらいです。そんなくろまめをたべたいとおもい、わたしは、このほんをえらびました。

このほんは、やまがみさまにおべんとうをつくるはなしです。やまがみさまのおれいは、おならガスでびっくりしました。

やまがみさまへのおべんとうは、とてもおおきくて、めがとびだすほど、おどろきました。それぞれのぐざいもおおきく、クレーンしゃなどをつかってつくります。そんなおべんとうをてのひらサイズのやまがみさまがおおぜいでたべるとおもっていましたが、じっさいはおおきなひとひとりで、びっくりしました。まちのひとたちは、おべんとうをつくるかわりに、おならガスのエネルギーをもらいます。もし、わたしだったら、コロナがおさまるくすりをもらいたいとおもいました。

日方小学校 浜松 凧紗（はままつ なぎさ）さん

「ひかりのぼうけん」を読んで

はままつ なぎさ

ゆめブックで、このほんをえらんだりゆうは、えがかわいくて、ぼうけんに行くみたいで、わくわく、どきどき、たのしそうなかんじがしたからです。

しゅじんこうのベティは、よるとえほんがだいすきなおんなのこです。あるひ、くらいところがにがてな、くまのコスモのえほんをよんでいると、ふしぎなことがおこります。

わたしが、わくわくしたように、ぼうけんがはじまりました。どうくつにきたとき、コスモはこわがっていました。ベティがはげしました。わたしは、やさしいとおもいました。すすんでいくと、「あかりすべてけすこと」と、かかれています。ふたりは、ゆうきをだしてランプのあかりをけしました。このあとのページがすごくきれいで、コスモのこわさもなくなって、わたしのすきなばめんです。

どうくつをでたあと、かえりみちをわすれてしまったベティをはげますコスモ、「こわがらないで、ずっとそばにいるから。ベティのてをつかんでほさないから。いっしょならきっとだいじょうぶ」ベティがいったこととおなじことをいったのがすてきです。ふたりは、とてもなかがよいのだとおもいました。

こまっているときにたすけあって、はげましあえるともだちができたらいなとおもいます。わたしも、ともだちにやさしくできるこになりたいとおもいます。

このほんをよむまでは、わたしは、くらいところがにがてだったけれど、よんでからはこわいのがすこしましになりました。